

上毛町教育委員会より

中学校、キャリア教育の推進

社会的・職業的自立に向けて

今、子どもたちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。

そこで、上毛中学校では、職場体験、文化講座、生徒会活動などの様々な体験的な学習を効果的に活用し、地域社会や高等学校などと連携しながら、各教科、総合的な学習の時間、特別活動など学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育を推進しています。

その中で子どもたちは、社会的・職業的な自立に必要な基盤となる能力・態度を育成し、自分らしい生き方を実現するための力を育てています。

7月7日には、福岡県立青豊高等学校の先生4名が中学校に来て3年生への出前授業を行っています。内容は、社会科(古代史)、数学科(2次関数・連立方程式)、家庭科(保育)です。子どもたちは高校以降の進路選択を視野に自分が希望する教科の授業を受けており、自分の進路を考える上での貴重な体験となっています。

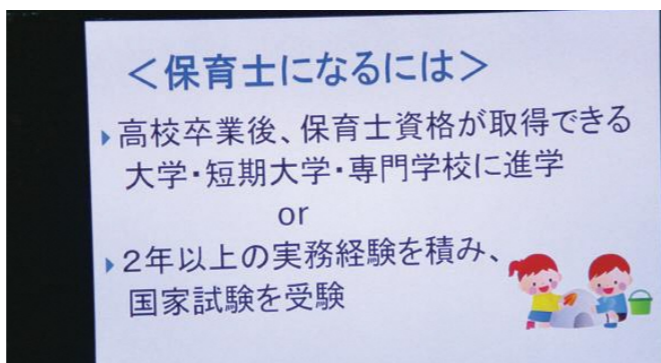
このようなキャリア教育の取組は、子どもたちが将来へのビジョンを描きそれをマネジメントする力や社会に出て行く力の土台となります。



〈社会科～古代史～〉



〈家庭科～保育～〉



〈数学科～2次関数～〉

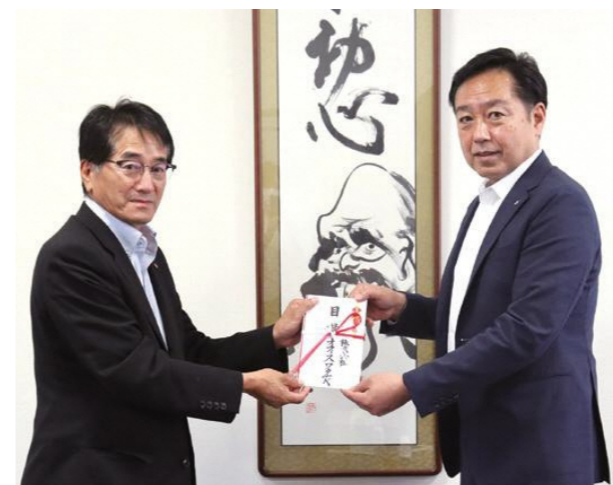


〈数学科～連立方程式～〉

株式会社オフィスワタナベ様より 企業版ふるさと納税として 寄付をいただきました

株式会社オフィスワタナベ様(大分県中津市)より、教育力の向上に役立ててもらいたいと、本町に企業版ふるさと納税の寄付をいただきました。

6月25日(金)には、株式会社オフィスワタナベの渡邊直二代表取締役社長から坪根町長へ目録の贈呈が行われました。本町では、株式会社オフィスワタナベ様のご意向に沿い、この度の寄付金を学力向上推進事業にかかる費用に充てることとします。



認知症カフェを開催しました

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から延期されていた「認知症カフェ」を、感染症対策を十分に取り、7月14日(水)にげんきの杜において開催しました。

「認知症カフェ」はもの忘れが気になり始めた方や認知症の介護について不安や悩みを感じているご家族の方が、気軽に相談できる場所であり、認知症になっても安心して暮らすことができるまちづくりを目指し開催しています。

こうげ生き活き体操をして体を動かしたり、サポーターの方からおいしいコーヒーを入れていただいたりと和やかな雰囲気ですごすことができました。

毎月1回開催しており、希望者には送迎も可能です。詳しくは下記までご連絡ください。

●問い合わせ先 上毛町地域包括支援センター TEL 84-7322



上毛町青少年健全育成町民会議から感謝状が贈られました

町民会議では、青少年の健全育成に関し、優れた活動を行っている方々に、毎年感謝状を贈呈しております。本年度は7月9日(金)に教育長室において、神戸康行さん(南吉富校区)と奥西真勝さん(唐原校区)の2名に西会長から感謝状が贈呈されました。

神戸さんと奥西さんには、多年にわたり、児童生徒が通学するときの交通指導・安全確保にご尽力いただいております。



▲左から、神戸康行さん、奥西真勝さん、西会長

町民会議は、さまざまな立場で青少年の健全育成を推進する皆さんが集まり、青少年問題を解決するために関係者が連携した取組を進めています。

《活動テーマ》

「地域の大人同士の連携、協力」

青少年を健全に育成するためには、家庭や学校のみならず、地域の大人同士の連携、協力が必要という意味を込めています。

《今年度の事業予定》

- ・子どもチャレンジ体験教室 ※新型コロナウイルス感染症拡大懸念のため中止
- ・防犯カルタ大会 ※新型コロナウイルス感染症拡大懸念のため中止
- ・標語コンクール
- ・青少年健全育成講演会

●問い合わせ先 教務課 社会教育係 TEL 72-3165(内線240)